

変革する大学！「学修成果の可視化」から教育・授業を変える ～教学データやIR分析に基づく改革の実践へ～

参加無料

主催



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto



株式会社 リアセック
会社 Riasec



近年、文部科学省の中央教育審議会・答申や、政府の教育再生実行会議・提言において、大学教育の改革・再生が強く求められています。特に、平成26年12月の中教審答申「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について」で、高等学校で培われた「生きる力」や「確かな学力」を更に発展・向上させるため、教育内容、学習・指導方法、評価方法等の抜本的な転換が求められ、各大学では学生の学修成果の可視化やその結果を踏まえた教育プログラムの改善・進化という一連の改革サイクルの確立に向けた取組が広がっています。一方で、学修成果をどのようにして客観的に可視化するか、さらにはその結果をどのように分析し、具体的に教育改善に活かしていくかは、各大学においても模索中かと思えます。

今回のフォーラムでは、基調講演で早稲田大学入試開発オフィス長を務め、文部科学省高大接続改革のワーキンググループメンバーでもある沖清豪氏から、データによる大学教育の自己改善の重要性や「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」の検討状況についてお話いただくと共に、事例発表では、東洋大学・京都橘大学の2大学より、効果測定から見てきた課題や、実際に授業や教育を変えるまでの教育改善の取組みについてご紹介いただきます。京都地域及び周辺大学の改革の加速化と、今後の大学における教育IRの更なる普及・定着に寄与する場となることを目指します。

▼フォーラムの概要

会場：キャンパスプラザ京都 5階 第1講義室

定員：150名 ※申込み先着順

日時：2017年7月30日(日) 14:00～17:30
(開場13:30より)

当日のプログラム

- 14:00～14:05 開会の挨拶 大学コンソーシアム京都
- 14:05～15:15 基調講演 沖 清豪 氏
- 15:15～15:25 休憩
- 15:25～16:25 事例発表① 東洋大学
- 16:25～17:25 事例発表② 京都橘大学
- 17:25～17:30 閉会の挨拶 株式会社リアセック

基調講演

高大接続改革の動向と、大学に期待される教育の質保証

～「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」の検討状況と、学生調査データに基づく教育改善～

早稲田大学
入試開発オフィス長
文学学術院 教授
沖 清豪 氏

事例発表

東洋大学

大学教育活性化への東洋大学の挑戦
～IRの全学的取組の結果、見えてきたもの～

東洋大学
副学長
経済学部 教授
松原 聡 氏

京都橘大学

基礎力を育む文学部教育の改革
～学修行動調査、アセスメント、学生インタビューの活用～

京都橘大学 文学部
学部長・教授
松浦 京子 氏

※主催者の不手際により登壇者変更となりました。

会場へのアクセス・参加お申込方法は裏面をご覧ください

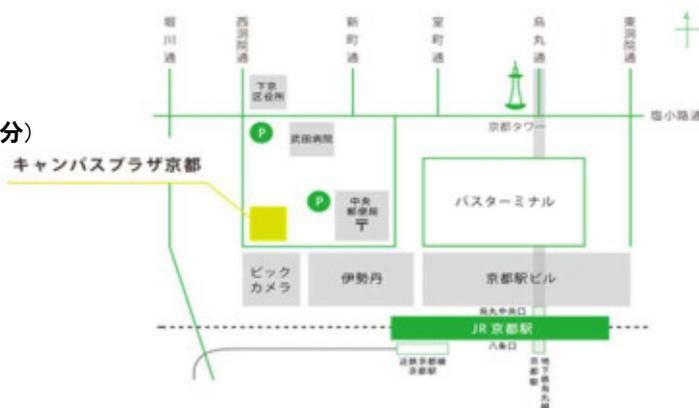
▼会場へのアクセス

キャンパスプラザ京都 5階 第1講義室

京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939

京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車、徒歩5分

<http://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto/access>



▼参加お申込方法

●WEBからお申込みの場合

以下URLまたは右のQRコードからアクセスの上、専用フォームからお申込みください。

<http://www.riasec.co.jp/seminar/works>



●FAXでお申し込みの場合

1名様につき1枚下記をご記入の上、**03-5402-3789** へ送信ください。

※複数名でご参加される際は、お手数ですが本用紙をコピーしてご利用ください。

学校名		住所:〒	
電話番号:	FAX番号:	E-mail:	
氏名	所属部署	役職	

※FAXを通じてお送りいただきます情報(個人情報含む)は、

①本セミナーの運営に関する業務、ご連絡、

②今後、大学コンソーシアム京都および株式会社リアセックが主催する高等教育関連イベントのご案内、についてのみ使用させていただきます。②のご案内が不要の方は、右のチェックボックスにチェックしてください。 ⇒

教育IRフォーラムに関するお問合せ先：株式会社リアセック
(TEL 03-6823-6138)